

ドキュメンタリー映画から見る中東社会の日常

今日、中東地域は、各地の政権崩壊や、シリアやイエメンの内戦など目まぐるしい政治変動の渦中にあります。笹川中東イスラム基金は、映像を通じて、こうした状況の中で生きる、中東の人々の毎日の生活に目を向けることにしました。

今回上映するドキュメンタリー映像は、エジプト南部を舞台とした『子のない母』（2015年山形国際ドキュメンタリー映画祭出品）です。監督のナディーン・サリーブ氏を初めて日本にお迎えし、制作の舞台裏や、エジプト、アラブの女性の現状を中心にお話をうかがいます。モデレーターには、中東映画に詳しい山本薫氏にお願いをいたしました。皆様、どうぞふるってご来場ください。

『子のない母』

ナディーン・サリーブ監督

(エジプト・アラブ首長国連邦/2014/アラビア語(日本語・英語字幕付)/84分)

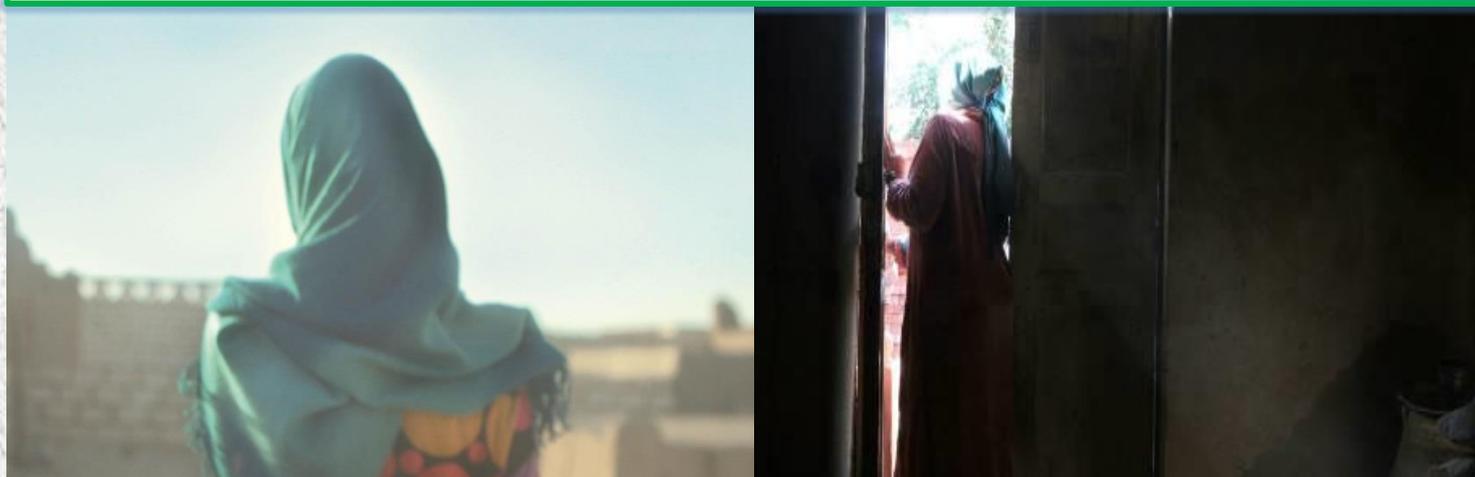
2016年9月16日(金) 17:30

会場：笹川平和財団ビル 11F 国際会議場

☆映画上映会 17:30-19:00

☆監督とのトークセッション 19:00-19:45 (日英同時通訳あり)

ゲスト：ナディーン・サリーブ監督 モデレーター：山本薫氏 (東京外国語大学)



作品について

エジプト南部の墓守が集う村で“Um Ghayeb”（不在の息子の母）と呼ばれるハナーンは、子を授かるため、呪術から外科手術まであらゆる治療を試みている。共同体のなかで自身の存在理由を模索する彼女の死生観は、ジェンダー的視点のみならず、大地に根ざして生きることの意味を見る者に問いかける。

【協力】山形国際ドキュメンタリー映画祭

【お問い合わせ】笹川中東イスラム基金 横山・黒川

Mail: middle-east@spf.or.jp Tel: 03-5157-5181

参加ご希望の方は9月15日(木)までに当財団ホームページ

(www.spf.org)上または、E-mail (middle-east@spf.or.jp)

にてお申込み下さい。*参加は無料です。